

高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 国語 科目 言語文化

教科：国語 科目：言語文化 単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 1組～3組

教科担当者：（1組：門野）（2組：門野）（3組：門野）

使用教科書：（「新編 言語文化」（東京書籍））

教科 国語 の目標：

- 【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。
- 【思考力、判断力、表現力等】 「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。
- 【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

科目 言語文化 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学期	<p>【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。</p>	<p>・指導事項 登場人物の行動や心情を説明する。</p> <p>・教材 古文の世界を楽しむ 児のそら寝（宇治拾遺物語）</p> <p>プリントを使用し、日本語の文法、表現、漢字を覚える （ひらがな・カタカナ・漢字、歴史的仮名遣い、文法、文章表現、復習と確認）</p>	○			<p>【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 積極的に兄と僧の様子や心情をとらえ、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。</p>	○	○	○	11
	定期考査					○	○		1	
	<p>【知識及び技能】 文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。</p>	<p>・指導事項 作品の内容を踏まえて、主人公のその後を想像し、自分の考えを文章にまとめる。</p> <p>・教材 受け継がれる古典/羅生門</p> <p>プリントを使用し、日本語の文法、表現、漢字を覚える （ひらがな・カタカナ・漢字、歴史的仮名遣い、文法、文章表現）</p>	○			<p>【知識及び技能】 文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 積極的に自らの作品世界を構築し、学習課題に沿って自分の考えを文章にしようとしている。</p>	○	○	○	11
	<p>【知識及び技能】 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。</p>	<p>・指導事項 現代日本語における漢文由来の故事成語の用例を調べたうえで、グループでその内容をまとめて発表する。</p> <p>・教材 「故事と成語」（ズームアップ 故事成語の用例を探そう）</p> <p>プリントを使用し、日本語の文法、表現、漢字を覚える</p>	○			<p>【知識及び技能】 我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 故事成語の用例を調べて発表する課題において、粘り強く用例調査に取り組んでいる。</p>	○	○	○	10
定期考査					○	○		1		

